



子どもの目にちなんだ工作(カブト・こいのぼりづくり)も大盛況!



子どもが最初に持った道具で子どもの未来の仕事を占い、祝う「物えらび」

国東町

笑った! 泣いた! 子どもの日 弥生のムラ「端午の節句」

5月5日(金)の子どもの日、弥生のムラ・市歴史体験学習館で、年中行事「端午の節句」が行われ、大勢の家族連れなどでにぎわいました。

失われつつある国東地域の伝統的な民俗行事に親しんでもらおうと、1歳前後の子どもを対象に行われた「弥生のムラから初誕生」では、「餅ふみ・餅かるい」「物えらび」「泣き相撲」が行われ、愛らしい子どもたちの姿に会場は終始和やかな雰囲気包まれていました。



手を使ってはいけません!(ハン食い競争)

国東町

元気いっぱい 交流の輪 第15回くにさき企業会大運動会

5月28日(日)午前9時から国東陸上競技場で、今年で15回目となる「くにさき企業会」(菅島進会長)主催の大運動会が、町内10の企業・事業所の社員や職員とその家族など約500人が参加して盛大に開催されました。大綱引き・大縄跳びや星の子争奪戦(親子騎馬戦)など、趣向を凝らした12の競技で家族一緒に気持ちのいい汗を流しました。各チームとも優勝をめざして、好プレー・珍プレーを展開し、和気あいあいに交流の輪を広げました。



植樹する「みどりの少年団」の団員



植樹後、海岸に移動してペットボトルや木くず等のごみを拾いました

武蔵町

よみがえれ白砂青松・大分空港森づくり大会

武蔵町の糸原海岸で5月13日(土)、美しい松林と白い砂浜の風景をよみがえらせようという環境美化活動「私の青空・大分空港の森づくり植樹大会」が開かれました。全日空グループが2004年度から各地の空港周辺で取り組んでいる植林活動で、この日は、県内外から集まった約500名の参加が、松くい虫に抵抗力を持つクロマツを中心に、マサキやトベラなど1,220本の苗木を植えました。

作業後は、JAくにさき武蔵支部の花き部会モナルダの会(瀧口タズ子会長)の会員の皆さんの作っただんご汁と国東名物のタコ飯が振る舞われました。



一粒一粒丁寧にハマボウの種をまく武蔵東小学校の5年生

武蔵町

武蔵川にハマボウを植えよう! 武蔵東小で種まき

武蔵川に自生していたハマボウを復活させようと、5月10日(火)、武蔵東小学校の5年生が同小で種まきをしました。改修工事を進めている武蔵川の環境復元計画の一環として、子どもたちに川を身近に感じ関心を持ってもらおうと、国東土木事務所職員や児童49名が参加。職員の説明の後、プランターに土を入れ国東町の富来海岸に生えていたハマボウからとった種を丁寧に土に埋め込みました。

今後は、8月に株分けをし、来年3月に住吉橋付近の河川敷に移植することとしています。